

Imaging Team

掲載内容

1) 価格情報

今年度(2011年4月1日付)の価格を用意致しました。

2) 製品情報

次世代 ソフトウェア MetaMorph NX version1.1.393.2 がリリースされました。

3) 技術情報

浜松ホトニクス社 DCAM-API が更新されました。

4) Journal の紹介

多次元データ取得中の露光時間変更の Journal について

5) 製品供給情報

Andor 社製 CCD カメラの一部に供給が難しい商品について

1) 価格情報

今年度(2011年4月から)の価格を用意致しました。

主な変更として、下記に記載致します。

● オプションが分かり易くなりました。

昨年度まで、MetaMorph のカメラドライバやコンフォーカルの関係 (レーザーなど) のドライバは製造メーカーごとに型番と金額が設定されておりました。今年度から (一部昨年度から) カメラドライバは、1つの型番・定価になりました。(Flashbus を除きます)

「5012686 MetaMorph カメラオプション ¥300,000-」

横河電機社 CSU ユニット、Andor 社 Laser, MicroPoint, MOSAIC、Visitech 社 Laser などはずべて同じ型番・定価になりました。

「5012687 MetaMorph コンフォーカルオプション ¥500,000-」

● MetaMorph のメンテナンス費用の定価が変更されました。

例えば、MetaMorph Version7.0 を御使いのユーザー様が最新の MetaMorph Version7.7 へのメンテナンス費用ということであると、下記になります。

「31286-MM Version7.7 用メンテナンス費用 ¥180,000-」

最新のバージョンでのオプション追加や、最新の機能を使用されたい場合など Version7.0 ~7.6 の場合、メンテナンスの延長はこちらが必要になります。

● MVDOC の定価を下げ、購入しやすくなりました。

MVDOC は、MetaVue 機能にカメラドライバ (Flashbus を除く)、1 波長のタイムラプス機能、シャッター制御用ドライバ、画像重ね合わせ機能を含めたソフトウェアパッケージです。

「MVDOC MVDOC エントリーパッケージソフトウェア ¥350,000-」

初期導入費用を抑え、MetaMorph へのアップグレードも可能です。

● EM-CCD カメラの一部の定価が下がりました。

一例ですが、ローパー社 Evolve- : 512 は¥5,500,000-、アンドール社 iXon X3 は、¥5,095,000-、浜松ホトニクス社 ImagEM は¥3,900,000-になりました。

細かな変更点は価格表より御確認をお願い致します。

2) 製品情報

次世代 ソフトウェア MetaMorph NX version1.1.393.2 がリリースされました。

(こちらは、Version1.1.240.1 からのアップデートになります。)

MetaMorph NX がインストール可能な System ID でインストール後、アップグレードを下記から msi ファイルをダウンロードして頂き、実施して下さい。

<http://www.meta.moleculardevices.com/updatesnx/>

※ 32bit OS をご使用の場合は、「MetaMorph NX 86x Version 1.1.393.2.msi」になります。

※ 64bit OS をご使用の場合は、「MetaMorph NX 64x Version 1.1.393.2.msi」になります。

主な変更点は下記になります。

- － MetaMorph Version 7.7.4 のカメラドライバと同等の機能に対応しました。
- － Nikon TIRF 用シャッターをサポートしました。
- － Offline Network Key をサポートしました。
- － インストール時の Version 確認がし易くなりました。
- － カメラパラメータの電子シャッターの機能をサポートしました。
- － Zフォーカス、Timelapse 軸での表示用ボタンを追加しました。
- － 閾値設定の表示を追加しました。
- － マウスでのズーム変更が可能になりました。
- － Script 機能で、ラインナンバーの表示、編集部分で Script の削除、色設定を追加しました。

3) 技術情報

浜松ホトニクス社 DCAM-API が更新されました。

DCAM-API March-2011 がリリースされました。ORCA-D2 を正式サポートした DCAM-API になります。MetaMorph のバージョンは 7.7.4 と一緒に御使用下さい。

4) Journal の紹介情報

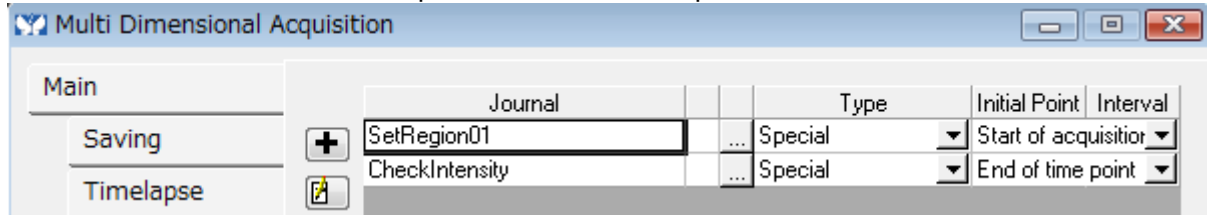
多次元データ取得中の露光時間変更の Journal について

ここでは Timelapse 中に露光時間を変更したい場合の Journal について紹介致します。

これはある特定のサンプル(部分)を Region で設定し、その Region 内の輝度情報がある値を超えた時に露光時間を下げる方法です。

輝度が明るくなっていくようなサンプルの場合に露光時間で調整をされるような場合に使用できるかと思えます。

MDA の Journal 内に、Start of acquisition と End of time point に Journal を設定します。



Start of acquisition では、露光時間に変数を与え、Live 画像に Region Tools より Region を 1 つ設定します。その Region を MM フォルダ内の Region フォルダに「Region01.rgn」として保存します。

```
No Description
ExpTime = MDA.Exposure
1: Acquire - Start Live()
2: Create Region(Position:X/From:X = 696, Position:Y/From:Y = 520, Width/To:X
3: Save Regions("Live", "Region01")
4: Acquire - Stop Live()
*** End of Journal ***
```

Timelapse で取り込んだ画像に Region を読み込んでその Region の平均輝度が、下記では 720 カウントを超えた際に MDA の露光時間を半分にしている設定になっております。

```
No Description
1: Load Regions("GFP", "Region01")
2: Show Region Statistics([Current At Start], SELECTEDREGION)
IF ShowRegionStatistics.Average >= 720 THEN
  ExpTime = ExpTime / 2
  MDA.Exposure = ExpTime
ELSE
END IF
*** End of Journal ***
```

この平均輝度の値(上記では 720)を変数にすることも可能です。

5) 製品供給情報

Andor 社製 CCD カメラの一部に供給が難しい商品がございます。

Andor 社製 CCD カメラの下記の 3 種類に関して、東北関東大震災に伴い、CCD センサー供給メーカーである日本テキサスインスツルツメンツ 美浦工場が被災しました。それに伴い、御注文を受けられない状態です。

LucaS (DL658M-OEM, -TIL)
LucaR (DL604M-OEM, -#VP)
DU(V)885K-CS0-#VP

引き合いや状況などを確認されたい場合などは、各担当営業まで御連絡下さい。

以上